

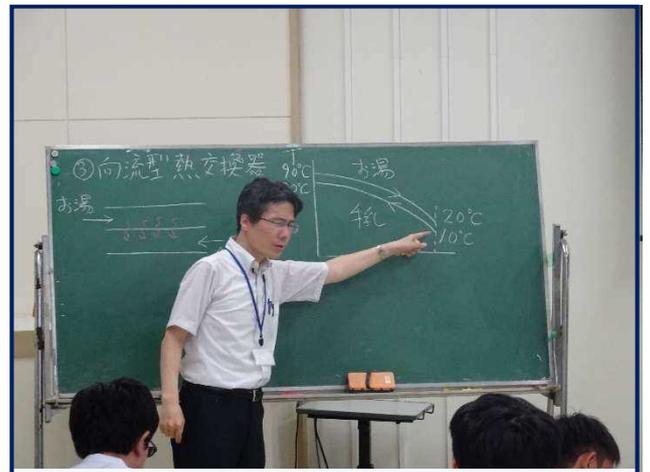


機械科で大学講義が行われました！

9月25日、本校視聴覚教室において機械科1年生が、新潟大学 工学部 機械システム工学科 教授 松原幸治 様 による講義を受けました。内容は「自然エネルギー利用の現状と熱力学的な考え方」で、熱力学第一法則（エネルギー保存の法則）と熱力学第二法則（エントロピー増大の法則）について非常にわかりやすくご講義いただきました。本当は難しい内容にもかかわらず、身近にある、牛乳とお湯について例題にいただき、日常生活の中の熱力学の法則を考えるきっかけになる内容でした。



難しい内容に聞き入る生徒



日常生活で実感できる牛乳とお湯の温度について例題として出題

【スキルアップシートより】

- ・今まであまりエネルギーに関心がなかったが、この話を聞いて興味がわいてきたのでもっと考えていこうと思った。
- ・不可逆性など複雑な内容でも聞いているうちにそれがどういうものなのかを理解することができました。
- ・車のエンジンなども効率よく回せるのではないかと思った。社会を見る目をかえていこうと思った。
- ・熱交換器は向流にすることによって温度差を小さくでき不可逆性を小さくできることがわかった。

【生徒の変容と身についた力】

- ・日常生活で熱とエネルギーについて考えるようになった。
- ・身の回りの機械の熱の流れについて興味を持てるようになった。
- ・エントロピー増大の意味が少し理解できた。

